

詩篇 22

ダビデの賛歌

1 わが神、わが神。 どうして、私をお見捨てになったのですか。

遠く離れて私をお救いにならないのですか。 私のうめきのことばにも。

2 わが神。 昼、私は呼びます。 しかし、あなたは答えになりません。

夜も、私は黙っていられません。

(汝への叫び)

3 けれども、あなたは聖であられ、 イスラエルの賛美を住まいとしておられます。

4 私たちの先祖は、あなたに信頼しました。

彼らは信頼し、あなたは彼らを助け出されました。

5 彼らはあなたに叫び、彼らは助け出されました。

彼らはあなたに信頼し、彼らは恥を見ませんでした。

6 しかし、私は虫けらです。 人間ではありません。 人のそしり、民のさげすみです。

7 私を見る者はみな、私をあざけります。 彼らは口をとがらせ、頭を振ります。

8 「【主】に身を任せよ。 彼が助け出したらよい。

(見捨てられた姿)

彼に救い出させよ。 彼のお気に入りなのだから。」

9 しかし、あなたは私を母の胎から取り出した方。 母の乳房に抱き頼ませた方。

10 生まれる前から、私はあなたに、ゆだねられました。

(初めの自分)

母の胎内にいた時から、あなたは私の神です。

11 どうか、遠く離れないでください。

苦しみが近づいており、助ける者がいないのです。

12 数多い雄牛が、私を取り囲み、バシヤンの強いものが、私を囲みました。

13 彼らは私に向かって、その口を開きました。

引き裂き、ほえたける獅子のように。

(見捨てられた姿)

14 私は、水のように注ぎ出され、私の骨々はみな、はずれました。

私の心は、ろうのようになり、私の内で溶けました。

15 私の力は、土器のかけらのように、かわききり、私の舌は、上あごにくっついていきます。

あなたは私を死のちりの上に置かれます。

16 犬どもが私を取り囲み、悪者どもの群れが、私を取り巻き、私の手足を引き裂きました。

17 私は、私の骨を、みな数えることができます。彼らは私をながめ、私を見ています。

18 彼らは私の着物を互いに分け合い、私の一つの着物を、くじ引きにします。

19 【主】よ。あなたは、遠く離れないでください。私の力よ、急いで私を助けてください。

20 私のたましいを、剣から救い出してください。私のいのちを、犬の手から。

21 私を救ってください。獅子の口から、野牛の角から。

(汝への叫び)

あなたは私に答えてくださいます。

22 私は、御名を私の兄弟たちに語り告げ、会衆の中で、あなたを賛美しましょう。

23 【主】を恐れる人々よ。主を賛美せよ。ヤコブのすべてのすえよ。主をあがめよ。

イスラエルのすべてのすえよ。主の前におののけ。

24 まことに、主は悩む者の悩みを さげすむことなく、いとうことなく、

御顔を隠されもしなかった。

(我の決意と宣言)

むしろ、彼が助けを叫び求めたとき、聞いてくださった。

(我と汝の共同体性の完成と勝利)

25 大会衆の中での私の賛美はあなたからのものです。

私は主を恐れる人々の前で私の誓いを果たします。

26 悩む者は、食べて、満ち足り、 主を尋ね求める人々は、【主】を賛美しましょう。

あなたがたの心が、いつまでも生きるように。

27 地の果て果てもみな、思い起こし、【主】に帰って来るでしょう。

また、国々の民もみな、あなたの御前で伏し拝みましょう。

28 まことに、王権は【主】のもの。主は、国々を統べ治めておられる。

29 地の裕福な者もみな、食べて、伏し拝み、ちりに下る者もみな、主の御前に、ひれ伏す。

おのれのいのちを保つことのできない人も。

30 子孫たちも主に仕え、主のことが、次の世代に語り告げられよう。

31 彼らは来て、主のなされた義を、生まれてくる民に告げ知らせよう。